

一人ひとりに  
寄り添う政治を。そ世  
だ田  
ち谷

つるみけんご

世田谷区議会議員

無所属

通信  
vol. 16

## 世田谷から未来を変える。

特定の団体や企業のためではなく、しがらみのない立場で、本当に困っている人の声を受け止められる”一人ひとりに寄り添う政治”の実現を目指して「つるみけんご」は、活動を続けます。

つるみけんご  
鶴見健悟プロフィール

- 1986年(昭和61年) 10月12日生まれ 35才
- 世田谷区立駒沢保育園、駒沢小学校、駒沢中学校、東京農業大学第一高等学校、東京農業大学応用生物科学部バイオサイエンス学科卒
- JA東京中央会 元職員
- 衆議院議員 長妻昭 元秘書
- 公務員試験専門 喜治塾 元講師
- 世田谷区議会議員に初当選(得票数4,491票)

つるみけんごは  
「認知症サポーター」です！

企画総務常任委員会、DX推進・公共施設設備等特別委員会に所属

このたび、「つるみけんご通信」をお手に取って頂き、誠にありがとうございます。ごぞいます。

本通信では、令和4年2月から3月にかけて行われた「世田谷区議会令和4年第1回定例会および令和4年度予算特別委員会」における質疑等の内容をまとめました。お読みいただけましたら、幸いに存じます。

※今回のチラシでは紙面の都合上、定例会で扱ったテーマのすべてを載せることはできませんでした。掲載できなかった内容を含め、議場での質問の様子は、右のQRコードよりご覧いただけます。



世田谷区議会  
インターネット  
議会中継

つるみけんごの  
会議の録画映像を  
ご覧いただけます。

## 質問 新型コロナウイルス抗原検査キットの無料配布事業を振り返って

～私たち区民が納得できる税金の使い方を～

## 質問の趣旨

区が本年1月に行った新型コロナウイルス抗原検査キットの配布事業については、区民の皆様から大変厳しいお声を頂きました。「テレビで見るまで知らなかった」「今から行ってももらえるのか」「配布場所が遠くてとても取りにいけない」などのご意見が私のところにも寄せられました。結果として、区の事業が多くの区民の方々の不安や疑問を招いてしまいました。どうしてこのようなことになってしまったのか、事業を検証し、その原因を探るには、事業の政策決定過程と区の判断の根拠を「見える化」することが重要です。今回の経験を踏まえ、今後あらゆる区の政策判断の根拠を「見える化」・「透明化」すべきと申し上げ、区の考えを問いました

## 区の答弁

例えば議会報告資料において、政策判断の根拠等の記載を徹底するなど、「見える化」・「透明化」に取り組んでいく。



## つるみけんごコメント

区的意思決定・政策決定過程が明らかになることは、私たちの税金の使われ方をチェックするうえで極めて重要です。一層の「見える化」・「透明化」を進め、私たち区民が納得できる税金の使い方となるよう努めてまいります。

## 質問 コロナ禍で不安や悩みを抱える方が増えています

～心の健康を守る取り組みの拡充を～

## 質問の趣旨

長引くコロナ禍により、孤立・孤独が深まり、「うつ状態」となる方が増えているとの指摘があります。こうした背景を踏まえ、千葉県柏市では、インターネットで自殺に関連する単語を検索すると市の相談窓口を紹介する広告が表示される取り組みがなされ、10か月間で約6万2千回、広告から市の相談窓口のページにつながる成果を出されています。世田谷区としても、心の相談窓口などの相談体制の拡充と併せて、悩んでおられる区民の方々に的確にアプローチできるよう施策を実施して頂きたいと提言しました。

世田谷区教育委員会に対しては、子どもと接する現場を持つ教育委員会から、子ども達の実態に即した対応や施策を福祉部門にも提案し、連携に基づく実践に繋げて頂きたいと申し上げました。

## 教育委員会の答弁

子どもを孤立させないよう、より有効な手立てについて、教育委員会として検討するとともに、福祉の関係部署等とも連携して進めていく。



## つるみけんごコメント

区民の方の心の健康を守る取り組みは、子ども、保護者、働く世代、高齢者などその対象となる方の立場によって異なります。このことも踏まえて、あらゆる角度から施策を組み立てていく必要があると考えます。今後も、実態を捉えた施策の展開がなされるよう区の取り組みに注目し、提案してまいります。

裏面は「つるみけんご×小泉たま子の一問一答」

# 50年100年先を見据え“区民目線”で「地域での行政の在り方」を再構築し直す

新風・せたがやの風 つるみ けんご×小泉 たま子一問一答

※当インタビューは「まん延防止等重点措置」の発令にともないオンライン形式で行われました。

世田谷区議会では、同じような考え方や意見を持つ議員同士が、自分たちの考えをより効果的に区政に反映させるため、グループをつくり活動しており、このグループを「会派」と呼びます。今回は、私が会派を組んでいる小泉たま子さんとこの会派結成のエピソードと区政に対する姿勢について、以前、インタビューを受け、小泉さんの区政報告レポートに掲載された内容を転載させて頂きました。(小泉さんには、ご快諾を頂きました。)私たちの活動の根本の部分をお伝えできれば、大変幸いです。

## 会派を組むきっかけは？



**小泉** 新しい時代に合わせた新たな議員活動をしなければならぬと感じていたところ、偶然にもつるみさんとお会いしたのです。お話ししていくうちに、私の頭のなかのなかもやもやが少しばかり晴れていくような気分となりました。もちろん、基本的考えとか政治信条は大事ですが、私としては、それ以上に、人間性であったり、ご縁というものを感ぜられるか(ちょっと古い言い方ですが)ということが、大切と感じています。それで、会派として一緒にやっていくこととなった、このようなことです。

**つるみ** 小泉さんとは、私の中学時代の恩師を通じて知り合いました。初めてお話をさせて頂いた際の小泉さんの区政に対する熱意とまっすぐな姿勢に圧倒されたことを今でもよく覚えています。小泉さんと私は区政に臨む姿勢、区のあるべき姿を描くうえでの基本的な考え方が共通していると思います。小泉さんとなら同じ志と方向性をもって、より良い区政に向けて邁進できると考え、会派の結成を決意しました。

## 「新風・せたがやの風」の今現在の最も重要な政策テーマは何ですか？

※「新風・せたがやの風」は、小泉さんをつるみの会派名です

**小泉/つるみ** コロナ禍を経た区民の皆様の生活の変化を的確に捉えるとともに、50年100年先を見据え、“区民目線”で世田谷区の「地域での行政の在り方」を再構築し直すことが、現在最も重要な政策テーマです。コロナ禍のなかでも、基礎的自治体として、区民の生命と財産を守り、安全安心な日常生活を営んでいける、この基本姿勢を忘れてはいけません。本来、地域での区民生活を支える仕組みであるはずの世田谷区の「地域行政制度」について、区は現在条例化を目指していますが、この方向性については多くの疑問があります。条例が区民生活を支え、安全安心な地域を守る礎となるよう全力で取り組みます。

## お二人それぞれの役割分担のようなものはありますか？

**小泉** ちょっと面白いのですが、言ってみれば、日々、役割分担が変わっていく、そのことにびっくりもし、楽しんであります。私はサッカーのことは素人なのですが、テレビなどで見ていると、本来、守備の位置にいる選手が、するすると前の方に上がってきて、ゴールしたりすることがありますよね。なんでそうなるのと単純に疑問に思っています。そのことと、会派の役割分担は何の関係もないのですが、ご質問で役割分担のことを聞かれたら、サッカーの試合のことが頭に浮かびました。小さな会派なので、なんでもやりくりしなくちゃならないのです。

**つるみ** 役割分担とは少し異なるかもしれませんが、小泉さんが長年かけて地域や区議会で学んでこられた知識や経験を基礎としつつ、そこに私が新たな視点や考え方を付け加えながら、二人

で議論を重ね、政策として練り上げていくことを大切にしています。議会においては小泉さんが私たち会派の幹事長を務めておられますが、ベテランと新人議員でありながら、あえて明確な役割分担をしないことで率直に意見をぶつけ合える関係性を作って頂いているように感じています。

## 気持ちを大きく、視野を広く、志を高く、世田谷の将来を必死に考えてほしい(小泉)

### 小泉さん～会派を組む条件は？

**小泉** 先ほども言いましたが、ご縁、信頼、明るさ、楽しさ、ということがとても大切なこと、と感じています、お答えにはなっていませんが。

### つるみさん～新しい情報はどこから入手されるのですか？

**つるみ** 区民の方から直接お聞かせ頂くお声こそが一番の“生きた情報”です。今はコロナ禍で控えていますが、駅頭活動や地域活動の中で頂く皆様のご意見が、私の政治家としての原動力となっています。また、国が毎年出す白書や様々な書籍等からも最新の情報を得るように心がけています。

### 小泉さん～若手議員に今後期待することは？

**小泉** 気持ちを大きく、視野を広く、志を高く、世田谷の将来を必死に考えてほしい、ということです。

## 子ども達が夢や希望に向かって健やかに成長でき、いくつになっても安心して歳を重ねられるような誰もが「暮らし続けたい街」(つるみ)

### つるみさん～若手議員として世田谷区をどんな街に発展させていきたいですか？

**つるみ** 私は小さいころから世田谷区に住み続けており、この街が好きです。この世田谷の街を、多くの方にそのように思ってもらえる街にしていきたいと考えています。子ども達が夢や希望に向かって健やかに成長でき、いくつになっても安心して歳を重ねられるような誰もが「暮らし続けたい街」になるよう取り組んでまいります。

### それぞれの議員としての信条は何ですか？

**小泉** いつの時代であっても、高齢者になっても、日々、楽しさに包まれて安心して暮らしていける、まさに笑顔があふれている、そのようなまちであって欲しいのです。心からそう願ひ、そのために尽くしていきたいと思っています。

**つるみ** 私は「一人ひとりに寄り添う政治」の実現を目指しています。政治家に必要なのは、現実を見る目と小さな声を聴く耳であると考えます。今の政治の現状を変え、子ども達の未来と全ての人に生きがいのある社会をつくるためにも、私が育ってきたこの大好きな世田谷の街を精一杯走りまわり、多くの人と会話を重ね、私達の声が反映される「一人ひとりに寄り添う政治」の実現に向け、全力で活動して参ります。

